

Japan Neurosurgical Database 被登録者みなさまへ

—「脊椎脊髄・末梢神経疾患に対する脳神経外科医による治療のCOVID19禍前後の変容を明らかにする - Japan Neurosurgical Database を用いた後方視的観察研究 -」

— へご協力のお願い —

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 脳神経外科 金 恭平

1) 研究の背景および目的

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID19）は2020年以降、世界中で、大きく社会や経済に影響を与えました。医療に対する影響も大きなものがあり、様々な変化が起きたと考えられます。本研究では、日本における、脳神経外科医が扱う脊椎脊髄・末梢神経疾患（キアリ奇形・脂肪腫含む）に対する治療についてCOVID19禍前・最中・後での変化を明らかにし、これからの医療に役立てることを目的とします。

2) 研究対象者

2019年度から2023年度の期間に、Japan Neurosurgical Database (JND)という登録事業に基づいて、データベースに登録された脳神経外科患者さんのうち、脊椎脊髄・末梢神経疾患（キアリ奇形・脂肪腫含む）として記録されている方、130,000名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027年12月31日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

4) 研究方法

JNDに登録されたデータを用います。2019年度から2023年度まで5年間に登録されたデータに着目して、その期間の総計、年度ごとのデータを集計します。また、COVID19禍の影響を評価することができるように、それぞれの年の10月の1カ月間の、脊椎脊髄・末梢神経疾患（キアリ奇形・脂肪腫含む）として登録された症例を取り出して、患者さんの特性・登録者数・予定/緊急入院の別・疾患名・手術数・術式・合併症等のデータを集めます。2019年度をコロナ禍前、2020年度～2022年度をコロナ禍最中、2023年度をコロナ禍後と分けることで、COVID19禍による治療の変化を明らかにします。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、JNDに登録されているデータから、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は含まれておりません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・患者属性・登録者数・予定/緊急入院の別・疾患名・手術数・術式・合併症等

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院脳神経外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

本研究を行うのに、特別な費用を必要としないため、研究資金は用いません。また、この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータを、そもそも含んでいない状態で解析し、学会や論文で発表しますので、ご安心ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、既に個人を特定できないよう加工されている情報を使用するため、情報は削除できません。ご了承ください。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 脳神経外科

氏名：金恭平

電話：086-235-7336（平日：9時～17時）

<研究組織>

既存情報の提供のみを行う機関： 一般社団法人 日本脳神経外科学会